

# 音鑑・冬の勉強会 2016 「よりよい授業を求めて」

12月27日～28日  
教員免許状更新講習（選択領域 12時間）認定

音鑑、年末恒例の勉強会です。今年は平日の開催となりましたが、たくさんの先生方に参加していただきました。

この勉強会のスタートの1日目の最初のプログラムでは、勉強会のテーマにもなっています「よりよい授業を求めて」をタイトルとして、藤沢章彦先生にご講演いただきました。次に、文部科学省教科調査官の津田正之先生に今後の動向についてお話し

いただきました。

午後は、音鑑研究委員からこれまでに研究委員会として研究してきたことや、現在研究中の「郷土の音楽」の教材化・題材化についての報告などがされました。その後、音鑑研究委員会からの提案として、校種別にワークショップを行いました。

1日目終了後には懇親会が開催され、参加者の先生方と講師の先生方で親睦を深めました。

## 1日目（12月27日）

研修内容：●講演「よりよい授業を求めて」

●講演「音楽の授業のさらなる充実 ～今後の動向を見据えて～」

●音鑑研究委員会報告

「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導／『郷土の音楽』の教材化・題材化」

●分科会ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導」

講師：藤沢 章彦（文教大学講師、当財団理事）

津田 正之（国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省教科調査官）

研究委員：館 雅之（神奈川県横浜市立高田東小学校校長）／萬 司（北海道札幌市立澄川中学校主幹教諭）

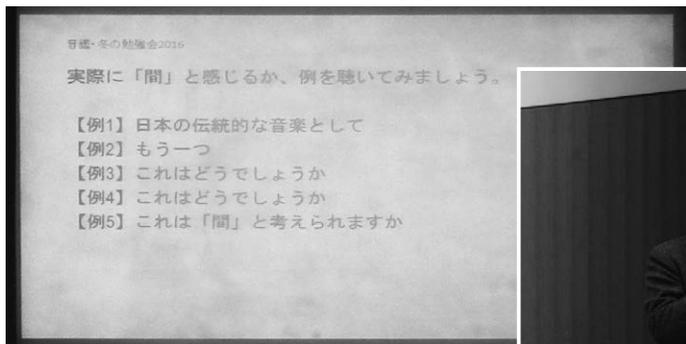
石井ゆきこ（東京都港区立芝小学校主任教諭）／梅宮 真里（福島大学附属小学校教諭）

河崎 秋彦（茨城県取手市立取手小学校教諭）／熊倉佐和子（東京都練馬区立関町北小学校主幹教諭）

安部 文江（長野県御代田町立御代田中学校教諭）／菅原史枝子（宮城県気仙沼市立鹿折中学校教諭）

高道有美子（東京都八王子市立打越中学校主任教諭）／長者久保希史子（青森県八戸市立中沢中学校教頭）

## ●講演「よりよい授業を求めて」



◀ 音楽科教育における「間」の考え方を例に、「よりよい授業を求めて」今回の冬の勉強会で目指すものをお話しされる藤沢章彦先生。

## ●講演「音楽の授業のさらなる充実 ～今後の動向を見据えて～」



▲文部科学省教科調査官の津田正之先生からは、最新の音楽科教育に関する、学習指導の課題や教育課程改訂の方向性のお話などを聞きました。▼



## ●音鑑研究委員会報告「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導／『郷土の音楽』の教材化・題材化」



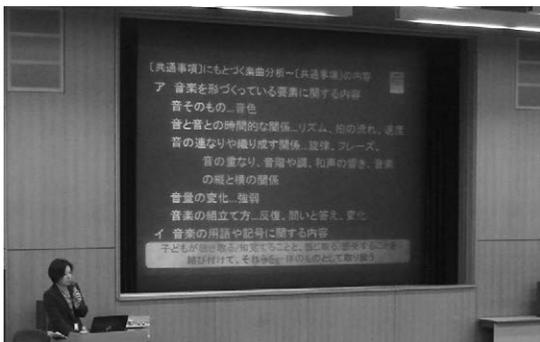
▲研究委員会を代表して、館雅之委員と萬司委員からは、これまで研究委員会がどういった点を大切に鑑賞指導の考え方を提案してきたか報告されました。



▲現在研究中の「郷土の音楽」のなかの「ねぶた祭の音楽」が紹介されました。

## ●分科会ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導」

\*中学校部会は、『アランフェス協奏曲』を教材にワークショップを行いました。



▲小学校部会では、『威風堂々 第1番』を教材に、〔共通事項〕を窓口とした楽曲分析などを行いました。▼



▲懇親会では、全国の先生方や講師の先生方と交流を深めました。

## 【アンケートより】

- ・音楽の本質を見失わないよう心掛け、バランス感覚をもって授業にむかわなくてはいけないと、津田先生の講義を通して感じた。
- ・一人で教材研究するより、いろいろな人といっしょにするほうが、より深められると感じました。



2日目の午前中は、昨年度の論文・作文募集 作文・小学生の部で最優秀賞を受賞した児童を指導された山上美香先生による実践報告から始まりました。「鑑賞の学習で大切にしている4つの視点」など、日々の取り組みのことをわかりやすくお話しくださいました。坪能由紀子先生のワークショップでは、即興

でリズムパターンを作ってみたり、いくつかの楽器を使ってジャズの即興演奏をしたりしました。

午後の音楽講座では、日本歌曲とドイツ歌曲の演奏を、解説も交えながら聴きました。他にも、発声方法など参加者全員で体験し、授業に生かせる内容が盛りだくさんでした。

## 2日目 (12月28日)

研修内容：●実践報告「平成27年度 音楽鑑賞教育振興 論文・作文募集

作文・小学生の部入選校 実践報告」

●お話とワークショップ「鑑賞と音楽作り／創作を関連させて」

●音楽講座「音楽と言葉」

講 師：藤沢 章彦 (文教大学講師、当財団理事) / 坪能由紀子 (日本女子大学教授)

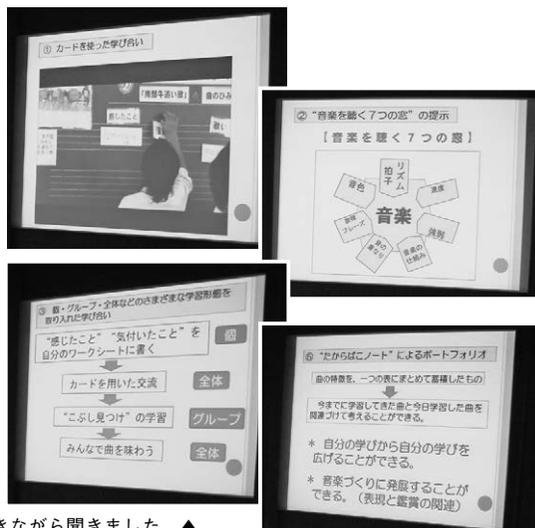
河野 克典 (横浜国立大学教授 / バリトン歌手)

発 表：山上 美香 (香川県高松市立香西小学校教諭)

### ●実践報告「平成27年度 音楽鑑賞教育振興 論文・作文募集 作文・小学生の部入選校 実践報告」



▲山上美香先生からは発問の工夫やワークシートの工夫など、細やかな指導の方法を伺うことができました。



授業中のさまざまな工夫や支援の方法を、資料を提示していただきながら聞きました。▲

### 【アンケートより】

- ・実践のすばらしさと入賞作文のすばらしさを結び付けて聞かせていただきました。
- ・鑑賞指導を充実させるための常時活動の大切さを感じ、ヒントをたくさん頂けた。
- ・すばらしい実践報告と、作文にする経緯までできてとてもよかったです。まねしたい内容がたくさんありました。
- ・鑑賞を中心に、ソルフェージュの聴き取りとのかかわりにふれ、他領域との深い結びつきの感じられるものでした。
- ・すばらしい実践発表だった。聴いていた皆さんがすべて勇気をもって明日からの授業実践の工夫につながる意欲につながったと思う。

## ●お話とワークショップ「鑑賞と音楽作り／創作を関連させて」



▲坪能由紀子先生のワークショップでは、音楽づくりのお話を聞いたり映像を見たり、即興演奏の体験もしました。▲

▼4人は「ドローン、反復、メロディー、飾り」の役割でジャズの即興演奏をしています。▼



## ●音楽講座「音楽と言葉」



▲ペットボトルキャップを使った発声練習の方法。

河野克典先生による歌曲の演奏。圧巻の『魔王』の演奏では、思わず涙する参加者もいました。▶



## 【アンケートより】

- ・自由に表現することの楽しさ、パターンで作る音楽のしくみがよくわかった。
- ・楽しいワークショップでした。子どもの感性は大人よりも吸収力があるのかもしれませんがリズムワーク（私もリズム音痴なのですが）が複雑なパターンに思えて、イヤになる子がいるので（途中であきらめてしまう）それらを引きつけるにはドローン対策が良いと学びました。
- ・河野克典氏による『魔王』が聴けたこと、すごく幸せでした。生の演奏は迫力がありませんでした。
- ・発声の仕方について授業でも使えそうなことを教えていただきありがたいと思いました。口の中の筋肉をほぐすことの大切さがよく分かりました。